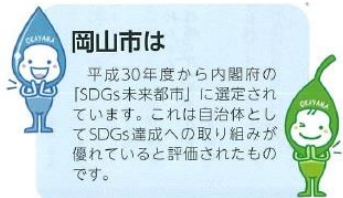


岡山市は
平成30年度から内閣府の「SDGs未来都市」に選定されています。これは自治体としてSDGs達成への取り組みが優れていると評価されたものです。



岡山大学は
外務省の第1回「ジャパンSDGsアワード」の特別賞「SDGsパートナーシップ賞」を受賞しています。これは国公立大学では唯一の受賞です。また、国連本部で行われた国際級のフォーラムに参加し、横野学長が岡山大学全学でのSDGsの取り組みについて発表しました。



岡大附中では
附中で以前から積極的に取り組まれてきた持続可能な開発のための教育ESD(Education for Sustainable Development)。これはSDGsの達成に欠かせないものです。各教科や総合的な学習ER(Earth Rise)、生徒総会、課外活動など学校生活の様々な場面において、SDGsを意識し関連付けて学ぶことで、問いを持ちながら学ぶこと、自ら考え、行動すること、繋がり大切にすることなど、持続可能な社会づくり主体的に参画するための資質や能力が育まれています。

総合で大切なのは・・・
つながりを大切にしながら「問い」をもちながら学ぶこと

最終的には・・・
3年生:3年間の学びを生かして個人テーマ探究(自己探究)



生徒総会
性別による標準服の違いをなくすことが生徒総会に提案され、可決されたことにより、性別に関係なく、気温や体調に合わせて、ブレザー、スラックス、スカートを着用できるようになりました。

課外活動
夏休みに岡山コンベンションセンターにて開催された「おかも環境教育ミーティング」に2年生の科学研究(環境・防災)チームが参加し、ブース展示を行いました。自分たちの研究や実践を紹介することで、いろいろな繋がりを持ち、視野を広げるきっかけになったのではないのでしょうか。

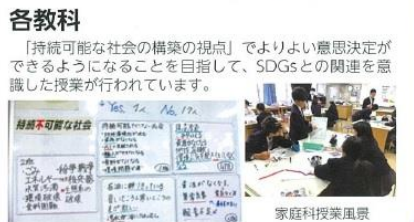


ER交換会
各学年が取り組んできたプロジェクトの集大成となるこの行事ですが、今年度は3年生全員が個人テーマを持ち、それについて探求し、個人による発表を行いました。また、武道教室にはSDGsに取り組む本校とつながりのある各団体によるブースが設けられ、生徒たちも熱心に説明を聞いたり、質問したりしていました。



各教科
「持続可能な社会の構築の視点」でよりよい意思決定ができるようになることを目指して、SDGsとの関連を意識した授業が行われています。

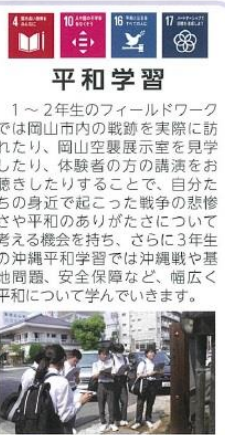
家庭科授業風景



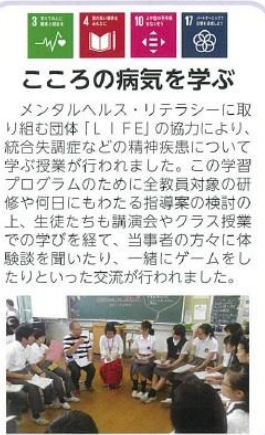
岡大附属中学生だっぴ
「中学生だっぴ」は、中学生が社会人や大学生などと出会い話し合うことで、様々な価値観に触れて社会への関心を高め、将来を考えるきっかけを提供するキャリア教育プログラムです。各クラス少人数グループに分かれた話し合いは、中学生にも大人にも充実したものとなりました。附中生の素直さ、意識の高さ、話す能力に感心したという感想もありました。



平和学習
1～2年生のフィールドワークでは岡山市内の戦跡を実際に訪れたり、岡山空襲展示室を見学したり、体験者の方の講演をお聴きしたりすることで、自分たちの身近で起こった戦争の悲惨さや平和のありがたさについて考える機会を持ち、さらに3年生の沖縄平和学習では沖縄戦や基地問題、安全保障など、幅広く平和について学んでいます。




こころの病気を学ぶ
メンタルヘルス・リテラシーに取り組む団体「LIFE」の協力により、統合失調症などの精神疾患について学ぶ授業が行われました。この学習プログラムのために全教員対象の研修や何日にもわたる指導案の検討の上、生徒たちも講演会やクラス授業での学びを経て、当事者の方々に体験談を聞いたり、一緒にゲームをしたりといった交流が行われました。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsって?
学校ではどんな取り組みがされているの?



Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)とは
2015年9月、ニューヨークの国連総会で、世界の国々はSDGsについて合意しました。この合意により、貧困を終わらせ、すべての人が平等な機会を与えられ、地球環境を壊さずに、よりよい生活を送ることができる世界を目指して、世界中が努力することが約束されました。2016年から2030年までの15年間、世界中の国々がこのSDGsの達成に向けて取り組んでいます。
パンフレット「私たちが目指す世界-子どものための『持続可能な開発目標(SDGs)』～2030年までの17の目標～」より

ESD 教師教育世界大会
11月22日～、岡山大学において、ESD教師教育世界大会が開催されました。国内やアジア、欧米など40か国から約200名の研究者や教育者が参加し、講演や分科会、研究発表を通して、ESDを推進する教育者の育成方策などが議論されました。25日には附属中学にも参加者の方々が視察に訪れました。

Setouchi!



多文化共生につながる国際教育

WATOTO こども聖歌隊との交流
ウガンダよりWatoto Children's Choirが来校し、生徒と交流しました。聖歌隊のメンバーはAIDSなどの病気や内戦で親を失った子どもたちですが、Watotoで医療や教育を受け、世界を回ることで自信や夢を取り戻し、関わる人々に勇気を与えています。附中でも音楽や英語の授業と一緒に受けた後、体育館で歌やダンスのパフォーマンスが披露され、心温まる交流が持たれました。

マレーシアの学生との交流
クアラルンプールにある理科系に特化した全寮制女子校SMS Seri Puteri校の生徒さんと引率の先生をお招きした国際交流事業が実施されました。3年生の各クラスでは、一緒にお弁当を食べたり授業を受けたりしました。2年生を対象にした交流では、グループでの科学研究発表がされ、多岐に渡る研究テーマに附中生も刺激を受けたことと思います。放課後には部活動の見学、さらにホストファミリーとのセレモニーを経て、2泊3日のホームステイが行われ、各ご家庭においても交流が持たれました。



本ページの資料提供・取材等には、竹島潤先生、川上祥子先生にご協力いただきました。ありがとうございました。